

新山下橋 (プレキャスト・ブロック工法)

Shinyamashita Bridge
(Precast Concrete Block Method)

川田工業(株)PC事業部

新山下橋は、横浜市内を流れる掘川の河口部に位置し横浜港の山下埠頭側と本牧埠頭側を結ぶもので、市内における自動車交通の円滑化をはかるため、自動車専用道路の建設とそれに関連する街路の整備事業を行っている湾岸線の一部として昭和54年3月完成予定である。

本橋の構造形式は、施工、維持管理、景観などを考慮し三径間連続P C箱桁ラーメン橋として計画、設計されたものである。

本橋の設計諸元は次の通りである。

等級	一等橋 TL-20, TT-43
橋長	上り線 183.90 m 下り線 170.70 m
支間長	上り線 63.70 + 76.60 + 42.40 m 下り線 58.90 + 70.40 + 40.20 m
有効幅員	上り線車道 10.50 m 歩道 1.50 m 下り線車道 7.25 m 歩道 1.50 m
構造形式	三径間連続P C箱桁ラーメン橋
架設工法	ブロック工法による片持式架設工法 (エレクショントラスによる架設)
基礎形式	大口径場所打ち杭
発注先	首都高速道路公団神奈川建設局
施工	川田、ピー・エス新山下橋上部建設共同企業体

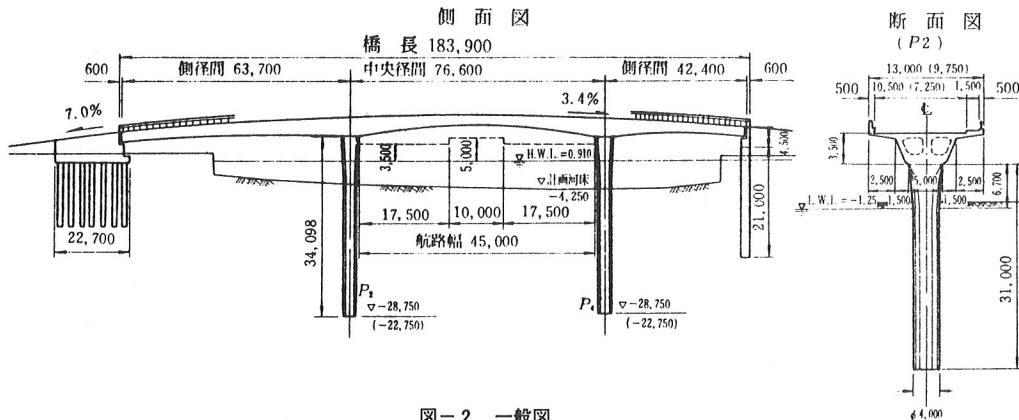


図-2 一般図

なお架設については、本橋梁下の航路は横浜港と上流の運河を結ぶ重要な位置を占めており、航路の長期間閉鎖が不可能であるため、対外的影響が少なく経済的なエレクショントラスによるブロック片持式架設工法が採用された。

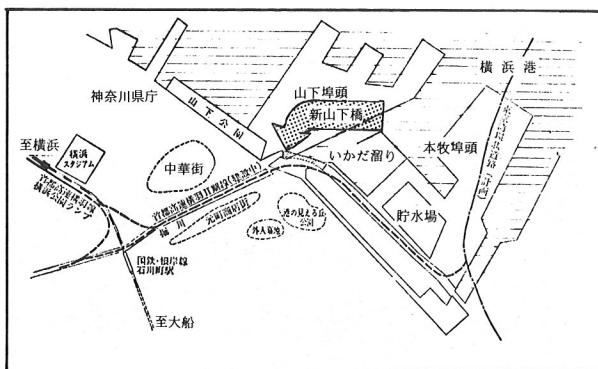


図-1 位置図



写真 新山下橋架設トラス全景